

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和7年10月7日（火）

### 2 確認箇所

- ・5・6号機原子炉建屋（図1）
- ・使用済保護衣等保管エリア i（図1）

### 3 確認項目

- （1）6号機新燃料の保管状況
- （2）使用済保護衣等保管エリア i の状況

### 4 確認結果の概要

#### （1）6号機新燃料の保管状況

東京電力は、中長期ロードマップの目標である令和13年内の1～6号機燃料取り出し完了に向け、6号機の使用済燃料プールに保管されていた使用済燃料の取り出しを令和4年8月30日から開始し、今年4月16日に全1,456体の取り出しが完了した。

また、6号機に保管されている新燃料※428体についても、10月中旬までに搬出実施される予定としている。今回は、6号機原子炉建屋の新燃料貯蔵庫に保管されている新燃料のキャスクへの装填作業を確認した。（前回確認：令和7年7月28日）

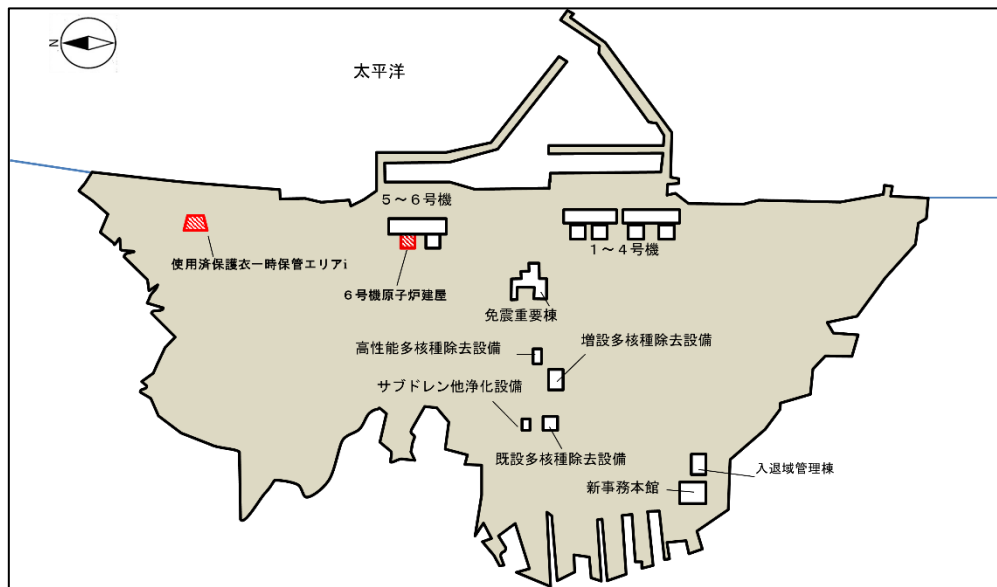
- ・装填操作は、まずキャスクの蓋をはずし、新燃料を装填するための収納缶の装填から開始された。当該作業を含め全てのクレーンを用いた作業は、声かけや手信号等が適切に行われていることを確認した。（写真1）
- ・途中、作業グループの交代があり交代前後のグループ全員が参加し作業引継ぎが行われていた。（写真2）
- ・新燃料貯蔵庫の蓋が外され、速やかに養生が行われた。（写真3）
- ・新燃料が取り出され、ふき取りによる表面汚染検査及び表面線量率の測定が行われていた。（写真4）
- ・表面線量率等の測定後、新燃料に綿袋が被せられキャスクへ装填された。（写真5）

※ 新燃料：未使用の燃料。使用済燃料に比べて放射線量が極めて低く、人が接近して取り扱うことが可能。熱が発生しないことから、プール等での冷却も不要。

#### （2）使用済保護衣一時保管エリア i の状況

使用済保護衣等保管エリア i の保管状況（前回確認：平成30年1月31日）

- ・当該エリアにおいて、コンテナが4段積みで整然と保管されていた。  
また、各コンテナには内容物及び保管開始時期等が表示されていた。  
(写真6)
- ・確認した範囲において、コンテナに腐食がみられたものの内容物の流出等はなかった。(写真7)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) キャスク蓋の取外し



(写真1②) 収納缶の装填作業



(写真2) 作業引継ぎの状況



(写真3) 新燃料貯蔵庫の蓋の取外し



(写真 4 ①) 新燃料の取出し



(写真 4 ②) 新燃料の表面汚染検査



(写真 4 ③) 表面線量率の測定



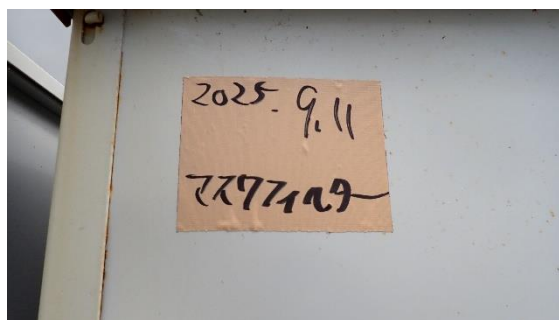
(写真 5) 綿袋による新燃料の養生



(写真 6 ①) エリア i の状況



(写真 6 ②) コンテナの保管状況



(写真 6 ③) 内容物の表示



(写真 7 ①) 腐食の状況



(写真 7 ②) 腐食部拡大

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。